

HPVワクチン？
女の子専用じゃないの？



お母さん、お父さん、HPVワクチンは 息子さんのがんも予防します。

女性の子宮頸がんを予防することで知られているHPVワクチンは、
男性のがんも予防できることが、最新の研究で明らかになっています。

接種をご検討下さい。

女子は無料(定期接種)です。現在、男子は有料です。

性交渉開始前の接種が効果的です。
女子では12～16歳が定期接種の対象です。



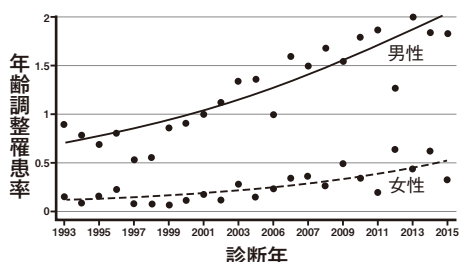
一般社団法人
日本がん・生殖医療学会

ご家族から勧めてあげてください。 HPVワクチンでがん予防。

HPVはセックスを通じて感染するウイルスだから、初めての経験をする前の接種が効果的です。

HPV(ヒトパピローマウイルス)は男性に多い中咽頭がんの原因になります。

中咽頭がんはこの20年で
約3倍に増えています



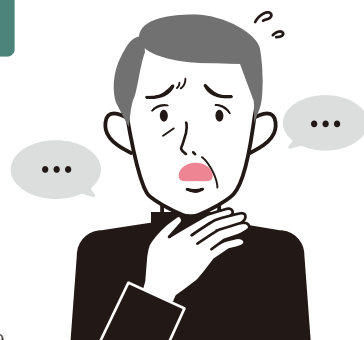
(Kawakita D et al. Cancer Med. 2022;11:1553-1560)

HPVが原因で中咽頭がんを
発症した場合

4~5人に1人
が5年以内に
亡くなっています

※中咽頭がん患者のうち
HPV陽性者の5年生存率

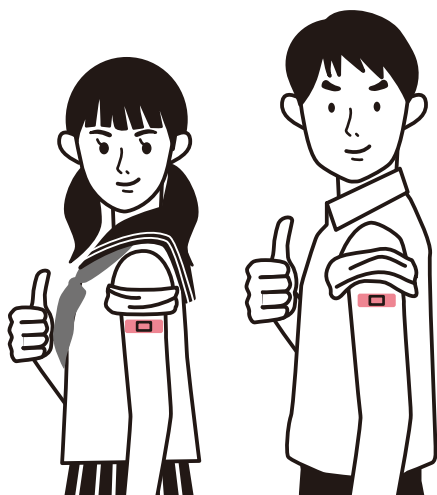
Fakhry C et al. J Natl Cancer Inst. 2008;100:261-9



治療後も、話す機能や飲み込む機能が損なわれるなどの後遺症が出る場合があります。

効果が認められている ワクチンです。

HPVワクチンが(女性の)子宮頸がんを減らしている実績は、世界で相次いで報告されています。そして、近年の研究で男性のがんを予防することがわかり、すでに男子への接種を進めている国もあります。日本では今のところ女性のみ定期接種として無料で受けられる状態ですが、日本がん・生殖医療学会は、男子も接種を行うことが重要と考えています。



「医師として、 自分の息子にも受けさせました」

(50代2児の父) 産婦人科医の証言

HPVは女性だけでなく男性にとっても大きな脅威です。私は医師であると同時に21歳の娘と19歳の息子をもつ父親です。彼らの体と人生を守ってくれるワクチンを息子には接種しないという選択肢はありませんでした。当時16歳だった息子は最初こそ接種を渋っていましたが、HPVワクチンの大切さを伝えることで納得してくれました。

副反応について

数年前、一部メディアでHPVワクチンの副反応とされる症状が報道されました。当時は安全性を説明できるデータが不足していたため、国による積極的な接種の勧めを中断していましたが、現在は様々な研究によって安全性が確認され、女子においては積極的な勧めが再開されています。